



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月2日

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 2812 URL <https://www.yskf.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 潤
問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 大勝 利昭 (TEL) 054-202-6044
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)
(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,513	△1.2	69	△55.8	94	△49.1	45	△57.0
2023年3月期第2四半期	6,592	8.1	158	△48.6	185	△45.6	106	△81.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 144百万円(△24.4%) 2023年3月期第2四半期 191百万円(0.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	4.03	—
2023年3月期第2四半期	9.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	21,747	18,901	86.9
2023年3月期	21,073	18,917	89.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 18,901百万円 2023年3月期 18,917百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
2024年3月期	—	10.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	14.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,650	△1.4	95	△71.2	135	△65.5	75	△72.1	6.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	11,450,398株	2023年3月期	11,450,398株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	76,365株	2023年3月期	75,999株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	11,374,319株	2023年3月期2Q	11,742,138株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式には、監査等委員でない取締役(社外取締役を除く)への株式報酬制度のために設定した信託口が保有する当社株式数が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後の初めての夏休みシーズンを迎え、旅行や帰省等の影響で人流の回復がさらに進み、景気が緩やかに回復する傾向が続いています。一方で、原材料やエネルギーの供給不安は続いていることに加え、世界的な金融引締めに伴う円安によりこれら価格は高騰しており、今後の景気下振れリスクへの注意が必要な状況にあります。

食品業界においては、人流回復により外食需要の回復が続いていますが、食材・エネルギー・物流・人件費等の高騰による価格転嫁が続き、食料品消費支出の減少が続いています。

このような環境のなか、当社グループでは、2027年3月期までの中期経営計画に基づき、「価値創造の加速」を経営ビジョンとして、(1)安全・安心の向上、(2)国内事業（調味料、機能性）の強化、(3)海外展開の加速、(4)新たな事業分野の創出の4つの基本戦略へ経営資源を投入しております。また、当社では「資本効率の追求」を重要な経営課題と捉え、人財・設備への投資、株主還元、新規事業分野への投資を実施することなどで企業価値の向上を図っていくことを決定しております。

連結売上高につきましては、調味料、機能食品及びその他セグメントの売上高は増加したものの水産物セグメントの売上高が減少したことから、65億13百万円（前年同期比78百万円、1.2%減）となりました。利益面につきましては、販売費及び一般管理費の経費削減のほか、製造コスト上昇に伴う販売価格の改定や生産性改善への取り組みを行っているものの、原材料価格等の上昇や取引先との値上げ交渉の妥結の遅れに伴い採算性が悪化したことから、連結営業利益は69百万円（同88百万円、55.8%減）となりました。また、連結経常利益は、94百万円（同90百万円、49.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は45百万円（同60百万円、57.0%減）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

(調味料)

調味料は、主に加工食品メーカー向けの液体調味料や粉体調味料の製造販売及び各種香辛料の製造販売に関するセグメントです。市場伸長が高い昆布・エビ調味料の販売強化や販売価格の改定に取り組み、液体調味料、粉体調味料の売上高が増加しました。その結果、調味料セグメントの売上高は、33億27百万円（前年同期比1億29百万円、4.0%増）となりました。セグメント利益は、原材料価格等の上昇や取引先との値上げ交渉の妥結の遅れにより採算性が悪化したほか、販売費及び一般管理費の増加により2億17百万円（同19百万円、8.2%減）となりました。

(機能食品)

機能食品は、機能性食品素材及び機能食品の製造販売に関するセグメントです。機能食品は主力商品の苦戦が続いているものの、機能性食品素材は注力素材であるアンセリンが堅調に推移したことなどから売上高が増加しました。その結果、機能食品セグメントの売上高は、14億28百万円（同8百万円、0.6%増）となりました。セグメント利益は、原材料価格等の上昇により採算性が悪化したものの、健康食品通信販売に係る広告宣伝費等の減少により、2億52百万円（同9百万円、4.1%増）となりました。

(水産物)

水産物は、主に冷凍鮪の原料販売及び加工製品の製造販売に関するセグメントです。韓国・台湾向け海外販売が好調に推移した一方で、国内向けでは外食・量販ともに需要低迷、販売価格競争等により低調な販売となりました。その結果、水産物セグメントの売上高は、10億86百万円（同3億78百万円、25.9%減）となりました。セグメント利益は、運賃・倉敷料・支払口銭等販売経費の減少や光熱費等で削減を図りましたが、原料原価高や売上高の減収等により、11百万円（同33百万円、74.9%減）となりました。

(その他)

その他は、化粧品通信販売及びその他商品の販売に関するセグメントです。その他商品の海外向け販売が伸長し、その他セグメントの売上高は、6億71百万円（同1億62百万円、31.9%増）となりました。セグメント利益は、仕入価格の上昇や販管費及び一般管理費増加の影響等により12百万円（同3百万円、23.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産の総額は、前連結会計年度末に比べ6億73百万円増加し、217億47百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が7億63百万円、商品及び製品が1億69百万円、その他が99百万円減少した一方、原材料及び貯蔵品が6億96百万円、受取手形及び売掛金が5億95百万円増加したこと等により2億48百万円増加し、141億58百万円となりました。

固定資産は、団地工場のリニューアルに伴い建設仮勘定が4億53百万円増加したことにより有形固定資産が3億4百万円増加したほか、保有株式の時価の上昇により投資有価証券が1億28百万円増加したこと等により4億24百万円増加し、75億88百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が3億54百万円、その他が1億81百万円増加したこと等により6億48百万円増加し、24億80百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債が43百万円増加したこと等により40百万円増加し、3億65百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が98百万円増加したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益が45百万円となった一方で、配当金の支払い1億60百万円により利益剰余金が1億14百万円減少したことから15百万円減少し189億1百万円となりました。

この結果、自己資本比率は86.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は47億33百万円となり、前連結会計年度末比7億69百万円減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、減少した資金は3億33百万円（前年同期比1億80百万円増）となりました。この内訳の主なものは、仕入債務の増加額3億54百万円、減価償却費2億1百万円、法人税等の還付額1億2百万円、税金等調整前四半期純利益77百万円等の増加要因に対し、売上債権の増加額5億95百万円、棚卸資産の増加額5億13百万円等の減少要因によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、減少した資金は3億22百万円（前年同期比1億29百万円減）となりました。この内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出3億20百万円等の減少要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、減少した資金は1億13百万円（前年同期比4億6百万円増）となりました。この内訳の主なものは、配当金の支払額1億59百万円等の減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年10月30日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,089,375	7,325,737
受取手形及び売掛金	2,941,127	3,536,656
商品及び製品	1,287,593	1,118,341
仕掛品	104,847	93,833
原材料及び貯蔵品	1,316,126	2,012,225
その他	172,065	72,653
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	13,910,136	14,158,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,396,754	1,336,823
機械装置及び運搬具（純額）	596,698	504,329
土地	2,603,175	2,603,175
リース資産（純額）	17,136	14,041
建設仮勘定	220,220	673,535
その他（純額）	83,860	90,909
有形固定資産合計	4,917,846	5,222,815
無形固定資産	63,132	48,898
投資その他の資産		
投資有価証券	1,742,362	1,871,188
退職給付に係る資産	222,563	244,638
繰延税金資産	12,635	12,393
その他	209,593	193,085
貸倒引当金	△4,321	△4,321
投資その他の資産合計	2,182,834	2,316,985
固定資産合計	7,163,813	7,588,699
資産合計	21,073,949	21,747,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,098,772	1,453,103
短期借入金	—	50,000
リース債務	6,808	6,808
未払法人税等	19,633	54,563
未払消費税等	14,477	265
賞与引当金	133,618	160,630
役員賞与引当金	—	2,458
損害賠償引当金	—	13,000
圧縮未決算特別勘定	7,721	7,721
その他	550,477	731,788
流動負債合計	1,831,509	2,480,339
固定負債		
リース債務	12,041	8,636
繰延税金負債	238,175	281,812
退職給付に係る負債	33,544	28,696
役員株式給付引当金	41,638	46,344
固定負債合計	325,399	365,490
負債合計	2,156,908	2,845,829
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,414,133	3,414,133
利益剰余金	11,436,284	11,322,015
自己株式	△73,837	△74,254
株主資本合計	18,394,223	18,279,537
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	522,818	621,779
その他の包括利益累計額合計	522,818	621,779
純資産合計	18,917,041	18,901,317
負債純資産合計	21,073,949	21,747,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	6,592,579	6,513,858
売上原価	5,092,698	5,155,030
売上総利益	1,499,880	1,358,828
販売費及び一般管理費	1,341,854	1,288,943
営業利益	158,025	69,885
営業外収益		
受取利息	568	568
受取配当金	20,811	20,834
受取賃貸料	9,191	10,734
その他	11,234	10,209
営業外収益合計	41,806	42,346
営業外費用		
支払利息	986	508
投資事業組合運用損	3,585	6,071
損害賠償金	683	1,769
減価償却費	3,698	3,422
その他	5,471	6,003
営業外費用合計	14,426	17,774
経常利益	185,405	94,457
特別利益		
投資有価証券売却益	5,326	1,446
特別利益合計	5,326	1,446
特別損失		
固定資産除却損	1,214	5,616
災害損失	969	—
損害賠償金	—	13,000
特別損失合計	2,183	18,616
税金等調整前四半期純利益	188,549	77,288
法人税等	81,624	31,357
四半期純利益	106,925	45,930
親会社株主に帰属する四半期純利益	106,925	45,930

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	106,925	45,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84,686	98,961
その他の包括利益合計	84,686	98,961
四半期包括利益	191,611	144,892
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	191,611	144,892
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	188,549	77,288
減価償却費	216,923	201,080
退職給付に係る資産及び負債の増減額	14,451	△26,922
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,359	27,011
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	8,182	2,458
損害賠償引当金の増減額 (△は減少)	—	13,000
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	5,080	4,705
受取利息及び受取配当金	△21,380	△21,403
支払利息	986	508
為替差損益 (△は益)	124	100
投資事業組合運用損益 (△は益)	3,585	6,071
有形固定資産除却損	1,214	5,616
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,326	△1,446
売上債権の増減額 (△は増加)	△346,826	△595,528
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△401,218	△513,732
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△56,964	8,536
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△36,930	16,507
仕入債務の増減額 (△は減少)	337,786	354,331
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△77,663	△42,617
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△14,013	40,762
その他	△68	△273
小計	△180,148	△443,946
利息及び配当金の受取額	21,416	21,438
利息の支払額	△1,052	△508
法人税等の支払額	△354,493	△13,828
法人税等の還付額	0	102,901
営業活動によるキャッシュ・フロー	△514,278	△333,943
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,408,000	△1,408,000
定期預金の払戻による収入	1,402,000	1,402,000
有形固定資産の取得による支出	△206,303	△320,555
有形固定資産の売却による収入	—	200
有形固定資産の除却による支出	△1,408	△3,467
無形固定資産の取得による支出	△3,630	△600
投資有価証券の取得による支出	△910	△887
投資有価証券の売却による収入	22,627	9,089
出資金売却による収入	3,168	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△192,457	△322,220

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△170,000	50,000
自己株式の取得による支出	△180,881	△417
配当金の支払額	△166,319	△159,862
リース債務の返済による支出	△3,094	△3,094
財務活動によるキャッシュ・フロー	△520,295	△113,374
現金及び現金同等物に係る換算差額	△124	△100
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,227,157	△769,638
現金及び現金同等物の期首残高	7,184,142	5,503,375
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,956,985	4,733,737

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	3,197,951	1,419,928	1,465,490	6,083,370	509,208	6,592,579	—	6,592,579
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,969	60	5,165	9,196	—	9,196	△9,196	—
計	3,201,921	1,419,989	1,470,656	6,092,566	509,208	6,601,775	△9,196	6,592,579
セグメント利益	237,382	242,518	44,123	524,024	16,887	540,911	△382,886	158,025

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品等であります。
 2. セグメント利益の調整額△382,886千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	3,327,026	1,428,818	1,086,583	5,842,428	671,430	6,513,858	—	6,513,858
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	91	—	3,708	3,799	—	3,799	△3,799	—
計	3,327,117	1,428,818	1,090,291	5,846,228	671,430	6,517,658	△3,799	6,513,858
セグメント利益	217,835	252,489	11,056	481,381	12,946	494,328	△424,443	69,885

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品等であります。
 2. セグメント利益の調整額△424,443千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。